

島原市報道資料

平成30年11月5日

報道関係者 各位

福知山市・島原市 姉妹都市提携35周年記念
「青い目の人形対面式」及び「～青い目の人形～‘日米親善人形交流展’」の開催について
標記の件について、別紙のとおり開催しますのでお知らせします。

記

添付資料

1. 福知山市・島原市 姉妹都市提携35周年記念
「青い目の人形対面式」及び「～青い目の人形～‘日米親善人形交流展’」開催要領
2. 「～青い目の人形～‘日米親善人形交流展’」開催チラシ
3. 島原本綿製マントの写真（1点）

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市社会教育課 松本恒一
電話：0957-68-5473
E-mail：t-matsumoto@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

福知山市・島原市 姉妹都市提携35周年記念
「青い目の人形対面式」及び「～青い目の人形～ ‘日米親善人形交流展’」開催要領

1. 「青い目の人形対面式」

- (1) と き：11月17日（土）
14時45分頃（福知山市友好親善訪問団歓迎セレモニー終了後）
- (2) ところ：島原城西の櫓前
- (3) 内 容：(1) 島原市に現存する青い目の人形「リトル・メリー」が福知山市に現存する青い目の人形「ヘレン・ウッド」と初対面する。
(2) 記念品として、島原市からは、島原木綿製のマントを贈呈し、福知山市からは、丹波木綿製マントが贈呈される。
(3) 対面式では、島原親善人形の会をはじめ多くの市民が見守る中で、島原市の子どもを代表して島原市立第一小学校児童の歓迎の挨拶、有明少年少女合唱団による歓迎の歌を披露。

2. 「～青い目の人形～ ‘日米親善人形交流展’」

- (1) と き：11月18日（日）～12月16日（日）
- (2) ところ：肥前島原松平文庫展示室（島原図書館1階）
- (3) 内 容：別添チラシ参照

3. 目的

本市が姉妹都市を提携している京都府福知山市に残る日米親善人形「ヘレン・ウッド」と、本市の人形「リトル・メリー」の対面式及び人形交流展を実施することにより、人形に込められた平和への思いを広く発信するとともに、本市及び福知山市のさらなる交流と相互発展に寄与する。

※参考資料

＜兩人形の歴史的背景及び両市のこれまでの取り組み＞

昭和2年、日米関係が悪化した時代、「世界の平和は子どもから」と日米の子ども達の友好を願い、アメリカの子ども達から日本の子ども達へ12,700体の青い目の人形が贈られました。しかし、その後日米関係は悪化し、戦争がはじまり、青い目の人形たちは敵国の人形として焼かれたり壊されたりしてしまいました。現在、全国にわずか約300体、長崎県では2体しか残っていません。

本市には、「リトル・メリー」が、島原第一小学校で現在も大切に保管されており、平和学習に活用するとともに、平成15年に発足した島原親善人形の会が主体となって、人形の歴史と意義を後世に伝えていく活動を展開されております。そのような活動が展開される中で、福知山市にも青い目の人形「ヘレン・ウッド」が存在することがわかり、新たな繋がりを感じているところであります。

(1) 島原市

①昭和59年3月

島原第一小学校で長年保管されていた青い目の人形が発見され、昭和初期にアメリカから贈られてきた日米親善人形であることが確認されたことが、島原新聞で記事として紹介された。

②平成12年3月

発見当時から名前が不明であった青い目の人形に、島原第一小学校児童からの公募により「リトル・メリー」と命名された。

③平成15年4月

島原城において、「日米親善人形 長崎瓊子里帰り島原展」を、実行委員会を組織して開催した。島原第一小学校で保管され、語り継がれてきた青い目の人形「リトル・メリー」の歴史とともに、日米親善人形の意義を伝えることを目的としており、6日間で約8,000人が来場した。

④平成15年7月

島原市において、「リトル・メリー」の親善人形交流の歴史と意義を次世代に継承していくために、島原親善人形の会が発足。以後、島原半島内の小中学生の平和学習での語り部活動や、毎年春には、島原城にて「リトル・メリー」を一般公開し、その歴史を伝える企画展やイベントを開催しながら伝承している。

⑤平成27年11月30日

「リトル・メリー」を島原市有形文化財に指定した。

⑥平成28年3月12日

「リトル・メリー」に島原市民として特別住民票を交付した。

⑦平成29年2月17日

島原市の姉妹都市である幸田町の日米親善人形「グレース・エッサ」と親善人形対

面式を実施し、姉妹関係を締結した。その後、島原市及び幸田町双方において、2体の人形が公開され、それぞれの住民に紹介した。

(2) 福知山市

①昭和 49 年 11 月

福知山幼稚園に青い目の人形が保管されていることが、京都新聞で記事として紹介された。

②昭和 57 年 1 月

青い目の人形「ヘレン・ウッド」が、福知山幼稚園から福知山市文化資料館へ移された。

③昭和 60 年 8 月 9 日～11 日

福知山ファミリーで開催された「福天戦争展」で初公開された。

④平成 28 年 7 月 16 日～8 月 28 日

南丹市立文化博物館で開催された「平和の使者 青い目の人形 京都・滋賀に遺る人形たち」で展示された。

⑤平成 29 年 11 月

島原親善人形の会から、「ヘレン・ウッド」が保管されている情報を得た古川島原市長が、福知山市制施行 80 周年式典に出席した際、「ヘレン・ウッド」が保管されていることを確認し、島原に残る青い目の人形「リトル・メリー」のことを福知山市に紹介した。

⑥平成 30 年 8 月 8 日～9 月 30 日

「長崎県島原市 姉妹都市提携 35 周年記念 文化財企画展 学校歴史資料と青い目の人形」が、福知山市内の 6 会場を巡回して開催された。

⑦平成 30 年 10 月 31 日

長崎県島原市との姉妹都市提携 35 周年を祝うシンボルとして、「ヘレン・ウッド」を福知山市友好親善特別大使に任命した。

任期：平成 30 年 10 月 31 日から平成 30 年 12 月 16 日まで

福知山市～島原市 姉妹都市提携35周年記念

～青い目の人形～‘日米親善人形交流展’

リトル・メリーとヘレン・ウッド

‘平和の使者’青い目の人形たちが伝える、友好親善の心と絆



＜島原市＞ リトル・メリー （島原第一小学校所蔵）

＜福知山市＞ヘレン・ウッド（福知山市所蔵）

昭和2年、日米関係が悪化した時代、「世界の平和は子どもから」と日米の子ども達の友好を願い、アメリカの子ども達から日本の子ども達へ贈られてきた12,700体の青い目の人形たち。その願いも叶わず、戦争がはじまり、敵国の人形として焼かれたり壊されたりしてしまいました。現在は、全国にわずか約300体、長崎県では2体しか残っていません。島原第一小学校の「リトル・メリー」はその中の貴重な1体です。また島原市と姉妹都市提携を結んでいる、福知山市にも、福知山幼稚園に「ヘレン・ウッド」が残され、現在も福知山市で大切に保管されています。

両市の青い目の人形「リトル・メリー」と「ヘレン・ウッド」は戦中戦後を越えて、今も「平和の親善大使」として、‘友好親善の心のありかた’について語りかけています。この度、福知山市と島原市の姉妹都市提携35周年を記念し福知山市友好親善訪問団とともに、「ヘレン・ウッド」も来島し、「リトル・メリー」と対面することになりました。友好親善のシンボルである2体のお人形たちが時を越えて私たちに届けてくれる大切なメッセージをぜひ感じていただければと思います。

*日時／平成30年 **11月18日**（日）～ **12月16日**（日） *入場無料

午前9時～午後6時（金曜日午後8時）

休館日／毎週月曜日・11月30日（金）

*会場／肥前島原松平文庫展示室（島原図書館1階） 島原市城内1-1202

*主催／島原市 島原市教育委員会

*共催／島原親善人形の会

*お問い合わせ／島原市教育委員会 社会教育課＜0957-68-5473＞

*後援／島原文化連盟・島原新聞社・カボチャテレビ・ひまわりテレビ・FMLしまばら

島原市&福知山市

姉妹都市提携35周年

そして、日米親善人形交流・・・

島原市と福知山市の関係は江戸時代初期の寛文9年（1669年）

福知山城主・松平忠房公が島原藩へ移封され、

多くの家臣や職人、町人が移り住んだことに始まります。

その歴史的な繋がりで友好が深まり、昭和58年（1983年）3月

末長い友好親善を誓って姉妹都市提携の調印をいたしました。

その後、両市は交流を深めながら今年35周年をむかえることになりました。

その記念すべき年となるにあたり、両市にそれぞれ大切に保管されている、

昭和初期にアメリカから平和の使者として贈られ、戦中戦後を生き抜き、今も尚、

友好親善の心を伝えている青い目のお人形たちが、新たな姉妹都市友好親善のシンボルとして

初対面することになり、仲良く並んで皆さんに展示公開されます。



・島原鉄道・島原駅より徒歩10分

・島鉄バス 大手バス停より徒歩5分

<駐車場>島原図書館 横 約10台

八尾病院横北側 約10台

島原振興局（土日祝のみ）

neuneu

<http://neuneu.pencil.jp/>

Copyright © 2000 Neuneu All Rights Reserved

ヘレン・ウッドと福知山幼稚園

ヘレン・ウッドが贈られた福知山幼稚園は、大正4年（1915）に内記のナザレン教会内に創設されました。昭和2年に福知山町立の幼稚園となり、4年に独立園舎が建設されるまでは、神明寺高等小学校の敷地内に園舎がありました。昭和20年には第二次世界大戦の激化のため一旦閉鎖され、青年学校として使用されています。

他の小学校同様、昭和2年5月に青い目の人形（ヘレン・ウッド）が贈られ、歓迎会が開かれました。しかし、その後の幼稚園の記録にヘレン・ウッドのことは記されておらず、どのようにして戦中戦後を過ごしてきたのかは、わかりません。ヘレンの名が再び表に出てくるのは、昭和49年になってからです。

昭和49年11月6日の京都新聞に、「福知山にも“健在”青い目のお人形」という見出しの記事が載りました。前月10月29日の同紙には、貴船幼稚園に青い目の人形が贈られていることが報じられています。引き出しのついた木製のガラスケースに入っており、引き出しの中にパスポートや手紙がしまわれていました。



京都新聞（昭和49年11月6日）に掲載された記事（一部）
（福知山幼稚園 所蔵）

そして、昭和57年、ヘレン・ウッドは福知山市宇下新の文化資料館へと居場所を移します。この時、福知山幼稚園は園舎を改築しており、それに伴って資料館に預けられたと考えられます。

Helen Wood



●ヘレン・ウッド



●ヘレン・ウッド



●手紙



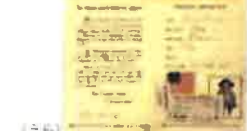
●青い目のお人形が
貴船のお便り



●人形を運ぶ箱（黒箱）



●バスボート



●バスボート

青い目の人形は、大正4年に島原市から福知山に渡り、その後、昭和2年に福知山幼稚園に贈られました。この時、園舎が改築され、人形は福知山幼稚園に保管されました。昭和49年には、貴船幼稚園に青い目の人形が贈られていることが報じられました。この人形は、島原市から福知山に渡り、その後、昭和2年に福知山幼稚園に贈られました。この人形は、島原市から福知山に渡り、その後、昭和2年に福知山幼稚園に贈られました。

<資料提供：福知山市>

島原木綿製マント

